

国の特別名勝・特別史跡

浜離宮恩賜庭園・他見学会の報告

大滝順治

去る8月11日、高津代表理事の案内で「浜離宮恩賜庭園」見学、隅田川ライン（水上バス）で、浜離宮から浅草まで約50分間の遊覧及び浅草寺参拝等の有意義な一日を過ごす事が出来ました。外国人観光客に大人気の「浜離宮恩賜庭園」概容をお知らせ致します。

海水を引き入れた潮入の池と二つの鴨場を伝え、江戸時代には、江戸城の「出城」としての機能を果たしていた徳川将軍家の庭園です。承応3（1654）年、徳川将軍家の鷹狩場に。この屋敷は徳川将軍家の別邸となり、「浜御殿」と呼ばれる様になりました。その後幾度かの造園と改修が行われ、十一代将軍家斉の時代にほぼ現在の姿の庭園が完成。明治維新ののちは皇室の離宮となり、名称を「浜離宮」と変えました。参加者16名：高津代表理事、齋藤総支部長、伊藤船橋支部長、他



樹齢300年余の
タブノキの巨樹。
左はケヤキ。



園内を行き交う人の約70%は外国人観光客。日本庭園の美しさ、爽やかな緑の風、潮入の池の表を飛び交うトンボ達。水面で遊ぶカモメやサギ、ここは正に都会のオアシス。



360余年の生氣と、大木の間を吹き抜けて来る緑の風を背で受け、隅田川を行き交う人々と手を振り合いながら過ごす昼食の一時。身も心も解放され100%の癒しを戴きました。



(上) 浅草寺五重塔・ここでバイバイです。

(右) 浜離宮~浅草まで勝鬨橋、清洲橋など 13 の橋をくぐって船旅終了。



タブノキやケヤキ等の大木に囲まれた潮入の池。園内に 3 つのお茶屋。白い屋根は寛永 4 年に造られた「中島のお茶屋」。抹茶和菓子セット有り。



浜離宮で拾ったタブノキの種 50 個を育苗箱に播きました。



今回の場合

- ① 水に浮いた種を除去し、中に潜む虫を殺す為、約 20 時間水に浸けた。(本来は 30 時間)
- ② 育苗箱の下にビニールを敷き、苗が成長しても根が土中に入らない様にした。
- ③ 育苗箱に畑の土を籠上部から 2 cm 程下まで入れ、表面を平らに均した。
- ④ タブノキの種が重ならない様に播き、種が隠れる程度の土を掛ける。(厚掛けはダメ)
- ⑤ 切り藁を全面に掛け、切り藁の飛散を防ぐ為、抑えにアルミパイプを載せた。この場合発芽したら、パイプが苗の発育の妨げにならない様、気配りが必要。
- ⑥ その上にたっぷりと水を掛けた。⑦ 後日、遮光ネットを掛けます。 以上